

研究・調査報告書

報告書番号	担当
501	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption promotes mammary tumor growth and insulin sensitivity. アルコール摂取が乳ガン増殖とインシュリン感受性を促進する	
執筆者	
Hong J, Holcomb VB, Tekle SA, Fan B, Núñez NP.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
<i>Cancer Lett.</i> 2010 Aug 28;294(2):229-35.	
キーワード	
アルコール、乳ガン増殖、インシュリン感受性	
要旨	
<p>疫学データでは、女性においてアルコールがインシュリン感受性を増大させる良い影響を持つが、乳ガンリスクを増大させる有害な影響を持つことが示されている。これらの影響は動物の乳ガンモデルにおいて同時に確認されたことはない。本研究の目的は乳ガンモデルマウスにおいてアルコールがインシュリン感受性を増大させ、乳ガン形成を促進することを確認することである。ブドウ糖負荷試験と homeostasis model assessment より、アルコール摂取がインシュリン感受性を改善することがわかった。水摂取マウスよりも。アルコール摂取マウスではより大きな乳ガンが形成され、その発達が早いことが示された。in vitro の結果より、アルコール暴露が用量依存的に乳ガン細胞の侵襲性を増大させることがわかった。以上より、乳ガンの動物モデルと in vitro のモデルでアルコールが乳ガンに与える影響を示した。</p>	